

がん放射線療法看護認定看護師



がん放射線療法看護認定看護師 松島 由佳

今年から高精度放射線治療センターとして新しい治療機器が2台導入され、がん放射線療法認定看護師として新たな気持ちでスタートしました。

放射線治療はがん治療の3本柱に位置付けられ、根治治療から緩和治療まで幅広く注目されてきています。一方、副作用や放射線に対する不安を抱える方も多いため、治療開始前から十分な説明を行い、治療への不安を和らげるよう努めています。また、治療中は食事の工夫や皮膚炎予防など、副作用が悪化しないように個々の日常生活に応じた関わりを心がけ、治療が最後まで続けられるようチームでサポートしていきます。

「楽になったよ」という言葉が聞かれた時は、患者さまやご家族と共に喜び、時には共に悩み、治療を乗り越えるお手伝いをさせて頂きたいと思えます。副作用を抱えながらの長期間の通院はストレスとなるため、気持ちのサポートを特に大切に考え関わらせて頂いています。日々相談に乗ることで信頼関係を築き、頼りにして下さる患者さまの期待に答えられるよう努力していきたいと思えます。不安や疑問がありましたら、気軽にお声かけ下さい。



放射線治療チームのミーティング

お知らせ

がん患者・家族交流会

ご関心のある方々を対象とした講習会・交流会



- 1月21日(水) 14時～16時 「リンパ浮腫について」
5番館3階多目的室 事前予約 15名 参加費 無料
- 2月20日(金) 14時～16時 「緩和ケアのお話」
3番館1階山崎記念講堂 当日受付 100名 参加費 無料
問合せ先: がん相談支援センター

糖尿病教室

糖尿病の基礎や糖尿病と他の疾患との関係などを学ぶ講座



- 2月7日(土) 13時～14時 「糖尿病と神経疾患」
14時～15時 「糖尿病と向き合う」
 - 3月7日(土) 13時～14時 「糖尿病と眼」
14時～15時 「質疑応答」
- 3番館1階山崎記念講堂 参加費 500円
問合せ先: 医療社会事業課

つしおぼあちゃん教室

お孫さんをむかえる方々のための子育てサポート教室



- 1月21日(水) 13時～15時
- 3月18日(水) 13時～15時

母子保健相談室 参加費: 3,000円
問合せ先: 産婦人科外来



武蔵野赤十字病院

No.43

2015年 冬

〒180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
季刊 情報誌

Eye むさしの



新棟整備計画案 竣工予定2020年 春

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

新年のごあいさつ



昨年末には御岳山の噴火や長野北部の地震など、やはり自然災害の多い年になってまいりましたが、今年こそは静かな一年となっほしいものです。
昨年は2年前の認定に続き、DPC II群（東京では13病院のみ）の再認定を受け、当院の高度急性期病院としての方向「入院と専門外来を中心とした病院」を再確認した年となりましたが、今年もこの方向は変わりません。開業の先生や近隣の病院では対応が難しい疾患の専門的な検査や治療、救急医療、周産期医療、さらにはこのような状態の方々への入院医療・手術などの機能を提供してまいります。その機能を効率的に運用するために、当院の受診には「紹介状と予約」が必要とさせていただいております。紹介・救急の方々への確かな治療を行い、できる限り短い入院治療を行い、その後は紹介元のかかりつけ医への紹介や、継続する入院が必要な方には回復期治療を専門とする病院への転院をお願いします。質の高い医療を効率的に効果的に提供することでこの地域の医療を守っていきたくと考えています。
本年もよろしくお願致します。



新年明けましておめでとうございます。
昨年は2月の冬季オリンピックで幕を開けました。若いアスリートたちの活躍は、胸躍るものがありました。しかしながら、広島の上野火災、御嶽山の噴火など、昨年大きな災害があり、多くの尊い命が犠牲になりました。自然の力は、私たち人間には如何ともしがたいものなのかもしれません。しかし、11月に発生した長野県の地震では、死亡者はいませんでした。被災地のひとつの白馬村では、地域住民の互助の体制ができており、災害弱者のお宅には、近所の方が救援に向かう体制が構築されているそうです。やはり地域の力です。電波で情報のやり取りができて、手を差し伸べられなければ人は助けられないことを改めて感じさせられたニュースでした。
当院は地域の安心できる医療機関として、近隣の病院と連携して活動しております。私たち看護師は、健康に不安を感じた時にも、病とうまく付き合っていかなければならなくなった時にも、この地域で生活し続けていただけるよう、生活者の視点から皆様を支援していきたいと考えております。心配なことや気になることがありましたら、いつでも気軽に声を掛けていただければ、と思います。本年もよろしくお願致します。

診療のご案内

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

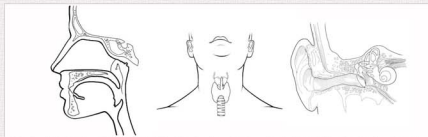


安心できる医療を
提供したい

部長 大野 十夫

昨年10月より診療科名に新たに頭頸部外科という名称が加わりました。頭頸部という言葉は多くの人にとって聞きなれない言葉で、解りにくいと思いますが、簡単にいえば顔面から頸部までの部分を指します。

この範囲に含まれる、鼻、口、のど、上あご、下あご、耳などの部分にできるがんが「頭頸部がん」です。この領域にある器官では呼吸、嚥下、咀嚼、発声など生活する上で重要な働きを担っています。そのため頭頸部がんにおいては機能温存と、根治性のバランスを考えた治療が必要になります。



当科では機能温存、さらには審美性も考慮し、内視鏡補助下に甲状腺を摘出したり、表在癌に対する治療を行うなど常に最新の医療を提供できるよう心がけております。

また腫瘍だけではなく、いままで行っておりましたいわゆる「耳鼻咽喉科」の診断・治療も継続して行っております。中耳炎や副鼻腔炎に対する外科的治療や難聴に対して適切な補聴器の指導を行うなどこれからの高齢化社会において皆様のお役に立てることが多々あるかと思っております。

現在我々は3名の医師があり、年間約400件の手術を行っており、そのほかにも抗がん剤治療や難聴、急性炎症などの入院治療を担当しております。

今後も質の高い医療を患者の皆様にご提供できるよう努力して参りますので、よろしくお願いたします。